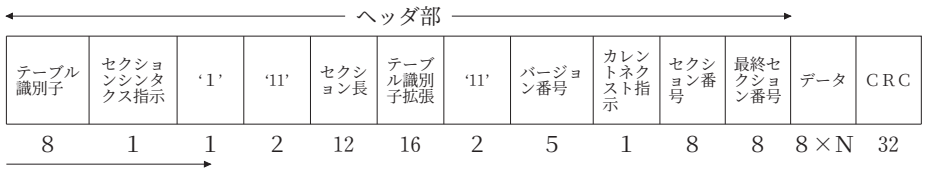
別表第五号　セクション形式の送出手順

1　通常形式



2　拡張形式



注1　テーブル識別子は、セクションが属するテーブルの識別のために使用する領域とする。

2　セクションシンタクス指示は、通常形式及び拡張形式の種別を識別するための領域とし、通常形式の場合は‘0’、拡張形式の場合は‘1’とする。

3　セクション長は、セクション長領域より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。ただし、この値は、4093を超えてはならない。

4　テーブル識別子拡張は、テーブル識別子の拡張を行う領域とする。

5　バージョン番号は、テーブルのバージョン番号を書き込む領域とする。

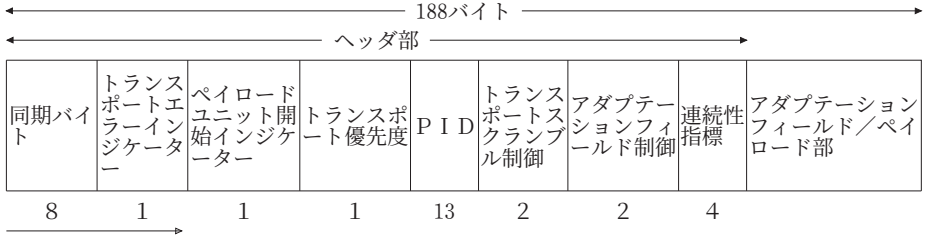
6　カレントネクスト指示は、テーブルが現在使用可能である場合は‘1’とし、テーブルが現在使用不可であり次に有効となることを示す場合は‘0’とする。

7　セクション番号は、テーブルを構成するセクション番号を書き込む領域とする。

8　最終セクション番号は、テーブルを構成する最後のセクション番号を書き込む領域とする。

9　ＣＲＣは、ＩＴＵ―Ｔ勧告H. 222. 0に従うものとする。

別表第六号　ＴＳパケットの送出手順



注1　同期バイトは、0x47とする。

2　トランスポートエラーインジケーターは、ＴＳパケット内のビットエラーの有無を示すフラグとし、‘1’の場合、少なくとも１ビットの訂正不可能なエラーがＴＳパケットに存在することを示すものとする。

3　ペイロードユニット開始インジケーターは、‘1’のとき本ＴＳパケットのペイロードの開始点がＰＥＳパケットの開始点、又はポインタであることを示すものとする。

4　トランスポート優先度は、同一のＰＩＤを持つパケットの中での優先度を示すフラグで、‘1’が優先を示すものとする。

5　ＰＩＤは、ペイロードのデータの種類を識別するために使用する領域とし、割当ては別記第１に示すとおりとする。

6　トランスポートスクランブル制御は、ＴＳパケットのペイロードのスクランブルモードを識別するのに使用する領域とし、その値は別記第２に示すとおりとする。

7　アダプテーションフィールド制御は、アダプテーションフィールド／ペイロード部の構成を示すために使用する領域とし、割当ては別記第３に示すとおりとする。

8　連続性指標は、同一のＰＩＤの値を持つＴＳパケットの順序を指定する領域とし、‘0000’を開始値として１ずつ増加し、‘1111’の次は‘0000’とする。ただし、同一ＴＳパケットの連送は２回までとし、この場合当該値を増加させないこととする。

9　アダプテーションフィールドは、ＩＴＵ―Ｔ勧告H. 222. 0に従うものとする。

別記第１　ＰＩＤの割当て

値	説明
0x0000	ＰＡＴ
0x0001	ＣＡＴ
0x0002-0x000F	未定義
0x0010	ＮＩＴ
0x0011-0x1FFE	ＰＡＴ、ＣＡＴ、ＮＩＴ及びヌルパケット以外に割り当てることができる領域
0x1FFF	ヌルパケット

別記第２　スクランブル制御値

値	説明
‘00’	スクランブルなし
‘01’	未定義
‘10’	偶数鍵
‘11’	奇数鍵

別記第３　アダプテーションフィールド制御値

値	説明
‘00’	未定義
‘01’	アダプテーションフィールドなし、ペイロードのみ
‘10’	アダプテーションフィールドのみ、ペイロードなし
‘11’	アダプテーションフィールドの次にペイロード